

2022年6月13日

新事業創出プログラム「IGNITION」発のベンチャー企業「ストリーモ」設立 ～Hondaのオープンイノベーションを通じて生まれた新価値マイクロモビリティを開発～

Hondaの新事業創出プログラム「IGNITION（イグニッション）」から生まれたベンチャー企業として2社目となる「株式会社 ストリーモ」が設立されました。

ストリーモは、独自のバランスアシスト機構により、ゆっくり歩くようなスピードから自転車程度のスピードまで、転びづらく安定した走行を可能にした1人乗りの電動三輪マイクロモビリティ「Striemo（ストリーモ）」を開発しており、2022年中に日本国内で、2023年に欧州でそれぞれ発売を予定しています。



電動マイクロモビリティ Striemo

株式会社 ストリーモ 公式サイト URL <https://striemo.com/>

<1人乗り電動マイクロモビリティ「Striemo」の特長>

0.1mm単位で重心バランスを計算した緻密な設計と、独自のバランスアシスト機構により、人が自然とバランスを取りやすい構造になっており、ゆっくり歩くようなスピードから自転車程度のスピードまで、転びづらく安定した走行が可能となっています。

■株式会社 ストリーモ 代表取締役 森 庸太郎（もり ようたろう）のコメント

「移動することの楽しさの一つに発見や出会いがあります。これをより多くの人に体験してもらいたい。誰もが靴を履いて出かけるように、自然体で動き出せる、そんな移動手段をつくれないうらと Striemo を開発しました。Hondaでの二輪開発で培った『人研究』のノウハウを生かし開発した、新しいモビリティです。Striemoが世界中で人々の生活の中に当たり前にあるモビリティの一つになり、人々が自由な移動を楽しめる豊かな世界をつくっていきます」

■本田技研工業株式会社 執行役専務 IGNITION 審査委員長 青山 真二のコメント

「Hondaにはチャレンジ精神を持った従業員が数多くいます。今回、『すぐにもでも人の役に立ちたい、社会に貢献したい』という熱い思いを持つ森さんに、起業という新たなチャレンジによってその思いを実現してもらおうと、HondaもIGNITIONを通じて支援していきます。そして、これからもオープンイノベーションを加速し、事業開発の新しい風を起こしていきます」

■ Honda のオープンイノベーションの取り組み

Honda は、創業時より独創的な技術やアイデアを大切にするとともに、それらを生かした社会課題の解決や新たな価値創造に向けさまざまなオープンイノベーションに取り組んでいます。

- ・オープンイノベーションプログラム「Honda Xcelerator (ホンダ・エクセラレーター)」※1
Honda Xcelerator は米国・シリコンバレーの Honda Innovations, Inc.を中心に、スタートアップ企業と Honda のコラボレーションを促進するオープンイノベーションプログラムです。Honda は、Honda Xcelerator プログラムを通して、グローバルで先進技術を有する多くのベンチャー企業と協業しています。外部の知見を取り入れ、共創することで、新しい価値を創造し、社会課題の解決に結び付けることを目指しています。
- ・新事業創出プログラム「IGNITION」
IGNITION は、Honda 従業員の持つ独創的な技術・アイデア・デザインを形にし、社会課題の解決と、新しい価値の創造につなげる新事業創出プログラムで、2017 年に開始しました。2020 年には、より早い社会実装を実現するために、起業するという方法を加え、2021 年には IGNITION 発のベンチャー企業第 1 号として「株式会社 Ashirase (あしらせ)」が設立されました※2。

<IGNITION の特長>

- ・勤続年数や所属部門にかかわらず、日本国内の事業所に勤める Honda 正規従業員は誰でも応募可能
- ・最終審査を通過したアイデアは、社内で事業化、あるいは起業しベンチャーとして事業化
- ・事業化判断までの期間は 6 カ月を基本とし、期間中は専門スキルを持った社内人材によるタスクフォースチームが結成され、提案者をサポート
- ・審査過程において、ベンチャーキャピタルがアドバイスや支援を実施
- ・起業したベンチャーの独立性を担保するため、Honda の出資比率は 20%未満とする

※1 Honda Xcelerator についてはこちらをご参照ください。 <https://xcelerator.hondainnovations.com/ja/>

※2 株式会社 Ashirase は、視覚障がい者の歩行をサポートするシューズイン型ナビゲーションシステム「あしらせ」を開発しており、2022 年度中の発売を目指しています。 <https://www.ashirase.com/>